

# 東京革新懇「人間講座」に 300 人 山本太郎、脱原発の生き方に感銘



脱原発の思いを語り、参加者からの質問に答える山本太郎氏

5月10日、東京革新懇の「人間講座」が文京区民センターで行われ、300人を超える参加者があり、千代田区職労からも4名が参加しました。  
昨年は山田洋次監督の人間観を聞きましたが、今年は俳優の山本太郎さんを招いて、脱原発という生き方を語っていただきました。  
山本さんはそれまでも原発には関心はあったようですが、昨年の3・11と原発事故の衝撃から原発の危険性を強く感じ、悩みぬいた末に「原発反対」の意思表示をします。そして、初のデモへの参加、諸集会への参加

へと脱原発の活動にのめりこんで行きます。  
しかし、恐れていた事態はあつと間に訪れました。一気に仕事の95パーセントがなくなり、所属事務所も辞めざるを得なくなったばかりか、恋人との別れも。それは現在のマスコミ・芸能界の大部分が原発推進してその利益を享受している企業からの宣伝料という太い紐が付いているからです。山本さんはそうした中で、「子どもたちの命を守るために一日も早く日本から原発をなくさなければ」と訴えます。「地震活性期の今、明日どこかで福島島の二の舞が起きても不思議はない」、「原発反対で一致できる人と大きく手を結んで30万人の輪で、国会を取り巻き原発をなくそう」。この暑い思いに参加者の大部分は共感し、行動への決意を固めたのではないのでしょうか。



山本太郎著・  
「脱原発 闘う役者の真実」  
をお貸しします。希望される方は組合事務所まで。